

かごしま経済 最前線

私のビジネス戦略

男性専用「ダンディハウス」、女性専用の「ミスパリ」など、エステティックサロン百三十店舗を全国展開するシェイプアップハウス（東京都港区）。今年五月に香港、九月にはマカオに進出する。「世界一受けたいエステ」を目指す下村朱美社長（五〇）中種子町出身に、これまでの経緯や鹿児島へのアドバースなどを聞いた。

（東京支社・谷上英文）

シェイプアップハウス社長 下村 朱美さん

「初めてエステサロン創業のきっかけは。」

「初めてエステサロンに行った時、技術や効果について質問しても、エステティシャンは適切に説明できなかつた。何のために技術を使い、その結果どうなるのか、きちんと説明できるサロンをつくりたかつた」

「開業後は全部をシステム化した。客が来たら体をチェックし、写真を撮り、注意事項を話す。技術が始まったところ説明する。客の立場で、してほしいと思つた通りのものをつくつた」

「国内初の男性専用エステ「ダンディハウス」を始めたのは。」

「女性客から『主人をやせさせて』『息子のニキビを治して』と相談されたのがきっかけ。健康志向だったため、三十歳代後半から五十歳代の顧客が多く来店した。特徴は年齢の高い客の多さ。」

■日本のエステ、海外へ

「世界一受けたい」目標

1982年、大阪・難波で「シェイプアップハウス」を創業した。86年に男性専用エステサロン「ダンディハウス」を開業。女性専用同「ミスパリ」、やせる専門店「ミスパリ・タイエットセンター」など130店舗を展開。従業員8000人。2008年9月期の売上高（連結）128億円。

会社概要

九十二歳の顧客もいる」に進出する。

「社員の資格取得を積極的に進めている。」

「顧客のニーズに応えるには高い技術力が不可欠。開業八年后にミスパリエステティックスクールの名前で開催する」

「二〇〇八年四月にミスパリエステティック専門学校を大阪と名古屋に開校した。サロンで働く97%が日本エステティック協会の『認定エステティシャン』を取得。資格取得率は全サロンが取得するISO9001の品質目標に厳しく入れ込んでいる」

「今年、香港とマカオ

「香港に五月、ミスパリ・タイエットセンターとダンディハウス、マカオは九月にスパ・ゲストハウスの業態で『和スパ』の名前で開業する」

「二十五周年の時『世界一受けたいエステをつくる』と宣言した。タイやバリなど世界中のホテルはスパで客を呼んでいく。日本は世界一の長寿国で、心を安らかに安定させる禅や武道、華道、茶道、香道などがある。日本のエステやスパを通じて長寿や美しさの秘けつと心の安定、癒やしに

「経済危機のなか北海道と九州は特に大変で、鹿児島も苦戦している。地方出店の際すべて地元社員だけでできるには三、四年が必要で、地元鹿児島が誇る上質の温泉と美容を融合し、オンリーワンの美容や健康法ができたらずこい宣伝効果があると思う。検討したい」

「顧客は本当に価値あるものにお金を払わない。接客マナーや技術知識を磨き、本当に価値のあるサービスを提供するしかない。危機に対する備えはするが、社員のリストラや内定取り消しはしない。3%程度の解約はあるが、現段階では前年度より業績が上がっている。社員の頑張り感謝している」



しもむら・あけみ 1957年、中種子町生まれ。池坊短大卒。化粧品販売代理店業を経て、82年にエステサロン「シェイプアップハウス」を創業。学校法人ミスパリ学園理事長、特定非営利活動法人（NPO法人）ソワンエステティック協会理事長なども務める。